



平和の創り方ワークショップ

～&イラクでの取り組み報告会～

日頃、ちょっとしたことで“イラッ”とすることはありますか。そんな時、あなたはどう対処しますか。「時間が経つを待つ」「相手の話を聞く」「自分の気持ちを伝える」、どれも簡単とはいえません。今回開催する“平和の創り方ワークショップ”では、そんな身近なことを糸口に“平和ではない状態を引き起こす原因のひとつ＝暴力”を考え、解決への鍵を探っていきます。今回は、イラクのNGOであるINSAN（インサン：裏面参照）のスタッフ2名が来日！ イラクで子どもたち対象に実施している非暴力のワークショップの取り組みについての報告会も実施します。

イラクでも

イラク北部のキルクークでは、民族的・宗派的・政治的な立場の違いから厳しい対立がありました。さらに2014年以来、過激派組織イスラム国の影響で多くの国内避難民が発生し、避難民の居住が長期化しています。受け入れコミュニティへの負担が高まる中で、避難民と受け入れコミュニティとの新たな対立も生じています。私たち日本国際ボランティアセンターは、この対立を解消する糸口としてINSANが実施する避難民の子どもたちと、受け入れコミュニティの子どもたちが参加する平和や共生について学ぶワークショップを支援しています。

日本では

イラクのような対立や暴力はありませんが、日本にも言葉の暴力、ジェンダー（社会的に形成された性差）による暴力、地位と権力を利用した暴力など様々な形態があることに気づかされます。私たちは日本でも、平和を考えたり非暴力を考えたりするためのワークショップを実施しようと考えました。非暴力トレーニング（裏面を参照）を新潟で開催してきた新潟国際情報大学の佐々木寛先生をファシリテーターとしてお招きしワークショップ＆報告会を開催します。イラクの平和も共に考える“内なる平和”づくりに、みなさまのご参加をお待ちしています

日 時 : 2016年12月17日(土)、18日(日)
10時00分～16時00分

場 所 : 新潟大学駅南キャンパス「ときめいと」
新潟市中央区笹口1丁目1 プラーカ1 2F
(裏面の地図をご参考下さい)

参 加 費 : 無料

協 力 : CPSN 新潟平和研究センター
新潟大学副専攻「平和学」

申込先 : 日本国際ボランティアセンター(JVC)
TEL 03-3834-2388
イラク事業担当 池田
ikeda@ngo-jvc.net

新潟大学参照先 : グローバル教育センター 宮口
miyatah@isc.niigata-u.ac.jp



JAPAN FOUNDATION

国際交流基金



このワークショップはJAPAN FOUNDATION 国際交流基金の支援にて開催致しています。



スケジュール

1日目

- 1.アイスブレイク(参加者同士知りあうためのリラックスタイム)
- 2.平和/非暴力を考えるためのアクティビティ(1) & 振り返り
<休憩>
- 3.平和/非暴力を考えるためのアクティビティ(2) & 振り返り

2日目

- 1.開会挨拶、ワークショップ&報告会 趣旨説明：佐々木寛
- 2.JVC イラクでの取り組み：池田未樹
- 3.INSAN のイラクでの取り組み：AARI MOHAMMED
- 4.イラクでの平和教育の取り組み：HUSEIN LAMEEAH
<休憩>

5.平和/非暴力を考えるためのアクティビティ(3) 振り返り

6.まとめ

「非暴力トレーニング」って何？

非暴力トレーニングとは、社会変革や非暴力直接行動の準備、職場やグループ内の問題解決を目的として行なわれる参加型のワークショップのことをさします。この手法を通してお互いを知り合い、仲間同士の信頼関係を強め、社会や身近な問題の解決や、非暴力的な生き方の糸口をみつけていこう、というものです。

ファシリテーター・プロフィール

佐々木寛 ささきひろし

政治学者・平和学者、新潟国際情報大学情報文化学部教授。専門は、国際政治学、平和研究

会場

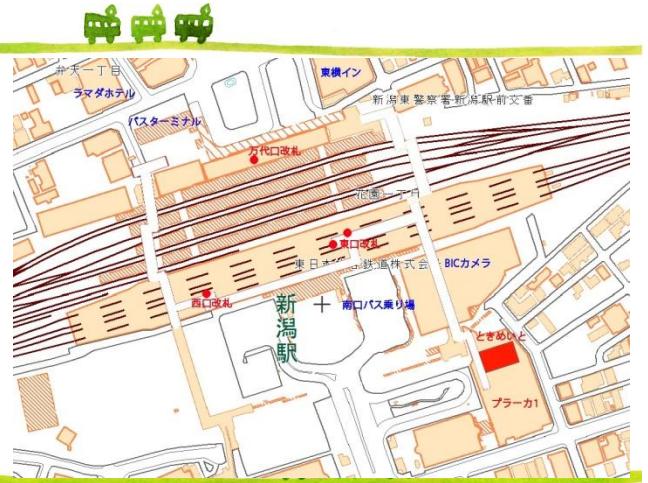
新潟大学駅南キャンパス「ときめいと」

所在地：新潟市中央区笹口1丁目1 プラーカ1 2F

電話：025-248-8144

アクセス：JR 新潟駅東改札より徒歩3分
(ビッグカメラ先左手)

※ 専用駐車場はありません。近隣の有料駐車場をご利用下さい。



CPSN(正式名称：新潟平和センター)

新潟の市民が日々、平和に生きるために条件を探求し、日常から平和を創り出すための具体的な方法を提案するため、地域の研究者や実践家たちによって設立されました。いじめや自殺、家庭内暴力や「パワハラ」など、戦争がないと言われる日本においてもさまざまな暴力が蔓延しています。私たちは「非暴力トレーニング」をはじめとする新しいワークショップの手法によって、家庭や学校、職場や地域社会からこのような「暴力」を少しづつ、確実に減らしていくことを活動しています。

<http://cpsniigata.org/>

新潟大学副専攻「平和学」

世界や日本で人びとの平穏な生活が脅かされる状況を直視し、戦争のないことに加えて、人間の尊厳を回復できる国際社会の条件を広い観点から考えます。「平和学」の履修により、世界の人たちのことを自分に関わることとして考えられる、21世紀にふさわしい国際人になってもらいたいと願っています。

<http://www.ies.niigata-u.ac.jp/~peace/>

INSAN(正式名称：インサーーン・救援と開発のためのイラク人協会)

“インサーーン”という言葉は、アラビア語で「人間」を意味します。2004年、地域における異民族の平和的共存を理念として、スペインのNGOで働いていたイラク人スタッフたちが設立しました。開発・人道支援・平和構築・紛争管理・アドボカシー（政策提言）の分野で活動する非政府・非営利・非宗教的NGOです。2009年より、JVCの協力の下、子どもたちやその親たち、学校の先生や地域グループなど住民を対象に紛争や対立、平和について考え方でもらうワークショップを開催してきました。

<http://www.insaniraq.org/>

特定非営利活動法人日本国際ボランティアセンター

1980年にインドシナ難民の救援をきっかけに発足し、現在アジア・アフリカ・中東、そして東日本大震災被災地で支援活動を行っている国際協力NGOです。イラクでは1991年、湾岸戦争で被害を受けた人々に浄水面での支援を行いました。その後2003年のイラク戦争では医療支援、2009年からキルクーク市にて平和教育を、2014年緊急支援、2015年から再び平和教育を実施しています。

<http://www.ngo-jvc.net/>



このチラシ上下の模様は、イラク、チグリス・ユーフラテス川下流の湿原地帯に、かつて水牛を飼い、ヤヌで魚を獲り、野生の猪や水鳥を仕留めて水上生活をしていた「マアダン(平地の住人)」が織った織物でデザインしています。